

職員数: 4(100%) 回収数:4(100%) アンケート実施期間: 平成30年12月

		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫
環境整備・体制	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか?	4			厚生労働省の基準に基づき、指導訓練室、食堂、静養室、相談スペース、事務所、トイレなどを配備し、階段をのぞくすべてのスペースはバリアフリーの対応をしています。
	② 職員 の配置数は適切であるか	4			
	③ 事業所の 設備等について、バリアフリー化事業所の、バリアフリー化 配慮が適切になされているか	4			
業務改善	④ 業務改善を進めるための PCDA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4			事業所内での業務改善はおこなっていますが、正式な保護者向けアンケートを初めて実施しましたので、その結果を受けて、具体的な改善策を講じていくと共に、その情報を公開していきます。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		4		
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			4	
適切な支援の提供	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			毎月の事業所内研修、法人主催の公開講習会及び、外部研修にも積極的に参加し、職員の資質の向上に努めています。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			事前の聞き取りや基礎調査票(保護者にご記入いただく)、初期評価セッション(評価キット)、障害児支援利用計画を通じて、当事業所での具体的な支援計画をさせてしています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1		日々の打ち合わせ、定期的な会議を開催し、支援者間でアイデアを検討していますが、今後は、より一層支援者がアイデアを出しやすいように工夫していきます。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成して支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			毎朝朝礼を開催し、当日利用予定の児童のプログラム、担当、その他役割について決定しています。
	⑮ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		4		支援提供終了時には、振り返りをおこなっていますが、体制上、通常勤務時間内での実施が困難な場合には、翌朝朝礼時に振り返りを実施するようにしています。
	⑯ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			個々の記録のポイントを職員間で確認し、振り返り事項も記載することで、今後の取り組みに活かしています。
	⑰ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			6ヶ月以内にモニタリングを実施し、保護者との意見交換や支援の方向性等の擦り合わせをおこない、ガイドラインを意識した上での個別支援計画を作成しています。
⑱ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	2	2			
関係機関や保護	⑲ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		4		現時点では、開催がないので、参加しておりませんが、児童発達支援管理責任者、担当者が参加できるように調整していきます。
	⑳ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4			毎月、学校への下校や送迎に関わる内容については、メールで連携及び連絡調整をおこなっています。
	㉑ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				医療的ケアが必要な児童の利用がありません。

保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			4	現時点では、就学前から修学後すぐに利用を開始された方がいらっしゃらないので、今後は、就学前の事業所とも連携や引き継ぎ等に努めて参ります。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				学校を卒業された方がいらっしゃらないので、今後は、障害福祉サービス事業所への引き継ぎ方法については、検討を重ねて参ります。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			外部団体の研修に積極的に参加し、自己研鑽の機会を持っています。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4		ダンススクールを通じて、障害のない子どもとの関わりの機会を持つようにしています。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		4		現時点では参加していません。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	1		主に、送迎時等に、お子さんの様子をお伝えし、共通理解を図るようにしています。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		4		現時点では実施しておりません。
保護者への説明責任等	㉗	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			利用契約の際に、伝えております。また、支援の内容等につきましては、定期的な面談を通じて、保護者からの想いなどを確認しながら、支援に反映するようにしております。
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			4	今後は、保護者会を開催し、保護者同士の連携を支える仕組みを検討していきます。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			苦情には至っておりませんが、ご意見をいただいた場合には、迅速に対応するように努めております。
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			4	会報は発行しておりませんが、個別に保護者・子どもにイベント等のご連絡をさせていただいております。
	㉜	個人情報に十分注意しているか	4			配慮しておりますので、今後も個人情報の取り扱いについては、徹底していきます。
	㉝	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			必要に応じて、その都度保護者やお子さんに対して情報提供等をおこなうようにしております。
非常時等の対応	㉞	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			4	現時点では実施しておりません。
	㉟	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		4		保護者に、事業所の緊急時対応マニュアルを公開し、周知を図ると共に、協働で取り組むようにしております。周知が十分でないものもありますので、今後は、保護者と連携して災害等の対応を検討していきます。
	㊱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		4		
	㊲	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			事業所内での研修会を開催し、防止に努めております。
	㊳	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				こうしたケースがありませんので、記載はしておりません。
	㊴	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			医師からの指示書がありませんので、現時点では対応しておりません。
	㊵	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			ヒヤリハットした場面があれば、その都度事業所内で確認し、再発防止策を講じています。